



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

2020～2021年度 テーマ 「コロナから身を守る」「温故知新：ふるきをたずねて新しきを知る」

プロバスだより 第300号記念号

2020 年 11 月 12 日発行

編集・発行：情報委員会

300 号記念挨拶

「プロバスだより 300 号に寄せて」 田中 会長

我がクラブのホームページを開くと、「プロバスだより第1号」が、25年前の第1回例会の様子を伝えています。「第1回の会報を作ってみました。これから毎月、出席できなかった会員向けに、例会の中身と各委員会の活動状況、催し物のご案内、会員通信欄など盛り込んで発行していきたいと思えます」と初代編集者がコメントされています。

その後ひと月も欠かすことなく、2004年3月に第100号、2012年7月に第200号、そして本年11月遂に第300号の節目を迎えることとなりました。

編集を担当する情報委員会のメンバーは毎号かなり大変な工夫と努力を強いられています、その内容と読み易さにおいてそれなりのレベルにあると好評を得ています。歴代の情報委員長始め原稿集めや編集作業に献身的努力をされてきたメンバーや、又、現在目にしているようなフォーマット（言わば型紙）を作った先輩諸氏に改めて感謝です。クラブ創設以来の会員であった岡田尚さんの「花わらべ印刷」にも長い間お世話になりました。

例会の内容を伝える貴重な記録であることは勿論、寄稿された会員各位の人となりを知る大切なメディアでもあり、また活動報告でもあります。論説あり、寄稿文あり、同好会活動報告あり、最近では最終ページの俳句のコーナーから目を通すという会員もおられるとか。この「プロバスだより」は、全日本プロバス協議会のいくつかのクラブにもお送りし、相互に交流を図っています。

今後とも、我がクラブの活動が続く限り、この「プロバスだより」も回を重ねていくものと信じています。編集作業の大変さを克服し、次の第400号を目指して、新たな出発をしましょう。

エールを送る会



東京八王子プロバスクラブ創立 25 周年のつどい
「小・中学校 音楽活動優秀校に

エールを送る会」を開催

日 時 令和 2 年 10 月 3 日 (土) 14:00～16:00
場 所 八王子学園都市センターイベントホール

会長挨拶

田中 信昭

東京八王子プロバスクラブは東京八王子南ロータリークラブをスポンサーとして 1995 年 10 月に設立されて以来 25 年目を迎えることができました。私たちはプロバスクラブの主旨である豊富な経験と知識を活用した地域社会への貢献に努めてまいりました。創立と同時に開始した「生涯学習サロン」、9 回を重ねました八王子「宇宙の学校」など多くの活動が地域に定着してきております。また、近隣プロバスクラブとの交流もますます盛んになり、定期的な会合、良き懇親の場となっております。当クラブ内には 10 を超える同好会のそれぞれが大変活発で、クラブ内の絆を深めております。こうした発展も皆様方のご支援と諸先輩の方々のご尽力による



ものと心から感謝しております。

本日は25周年という節目に「小・中学校 音楽活動優秀校にエールを送る会」を開催することとなりました。次世代を担う若者に「はばたけ未来！」と励まし皆様方とともにエールを送りたいと思います。東京八王子プロバスクラブは今後も地域への奉仕活動を進めて参りますので、今後、ますますのご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

来賓紹介

司会者より、本日お招きしたご来賓の皆様方が紹介されました。

八王子市長	石森 孝志 様
八王子市教育委員会教育長	安間 英潮 様
八王子市生涯スポーツ部 部長	音村 昭人 様
八王子市立松が谷中学校 校長	佐藤 ひろみ 様
八王子市立清水小学校 校長	町田 浩一 様
八王子市立上柚木小学校 校長	町田 千恵美 様
八王子織物工業組合 理事長	檜崎 亮一 様
八王子織物工業組合 副理事長	黒澤 真一 様
八王子南ロータリークラブ会長	神山 治之 様

事業委員長挨拶

皆さま今日は、実行委員長の杉山です。本日はお集まりを頂き誠に有難うございました。とりわけ石森市長をはじめご来賓ご招待者の皆様にはご多用中にも関わりませずご臨席を頂き、改めて厚く御礼申し上げます。

杉山 友一



さて、先刻田中会長からもご挨拶申し上げましたが、10月3日の本日は、本来ならばいちょうホールの大ホールを満席にして、音楽活動優秀校の小・中学校の皆さんを中心に華やかに音楽祭が展開されている筈でございました。しかしながら、予測のつかないコロナ事情の中でやむを得ず事業計画の一部を切り離して本日の集いを開かせて頂きました。プログラムの中では、高いレベルの実力校松が谷中学校吹奏楽部には私共プロバスクラブから、学校の運営面で地域との連携を重視する中で、象徴的な役割を果たしている清水小学校ブラスバンド部、そして、市内小学校70校の合唱活動でその頂点に立つ上柚木小学校合唱

部の皆さんには、それぞれ八王子織物工業組合様から特製の舞台用ネクタイが活動奨励品として贈られます。織物組合様におかれましては、この度は私共プロバスクラブの事業企画にご賛同いただき特段のご協賛を頂きましたこと本席にて改めて厚く御礼申し上げる次第です。思えば今日をご縁として八王子織物の100年を超える歴史と伝統が子ども達の音楽の舞台と繋がりました。このご縁を機として、子ども達の心を育む音楽活動がなお一層盛んになることを願っているところです。子ども達は「家庭」、「学校」、そして「地域」が共に育てるものとの思いを共有できる一日でありたいと願っております。本日はどうぞよろしくお願い致します。

石森八王子市長挨拶 (要旨)

創立25周年のお祝いの言葉と生涯学習サロンの開催により幅広く市民の皆さんに貢献していること、宇宙の学校の開催により子どもたちに大きな夢をあたえてくれたことに対してのねぎらいの言葉を頂きました。



神山八王子南ロータリークラブ会長挨拶 (要旨)

創立25周年のお祝いの言葉とプロバスクラブの「生涯学習サロン」による市民への参加呼びかけと八王子宇宙の学校開催による子どもたちへの科学に対する興味を抱かせる活動に対しての評価を頂きました。



奨励品の贈呈

田中会長より、八王子松が谷中学校へ吹奏楽器目録が贈られました。内容は、吹奏楽部で必要とされるドラムフルセット一式です。



八王子織物工業組合檜崎理事長から、八王子市立清水小学校へ「舞台用の特製ネクタイ20本と女子用蝶ネクタイ40本」が贈られました。



八王子織物工業組合榎崎理事長から、八王子市立清水小学校へ「舞台用特製ネクタイ 60本」が贈られました。



謝 辞

贈呈を受けた各学校の校長先生からの謝辞がありました。

松が谷中学校長 佐藤ひろ美様
 清水小学校長 町田 浩一様
 上柚木小学校長 町田千恵美様



佐藤校長



町田校長



町田校長

感謝状贈呈

八王子市より東京八王子プロバスクラブの奉仕活動に対して、さらに八王子プロバスクラブから八王子織物工業組合に「舞台用ネクタイの寄贈」への感謝状がそれぞれ贈呈されました。



左から田中会長、榎崎理事長、安間教育長

三校活動状況の映像放映

小休憩のあと、各学校の生徒さんたちからのお礼の言葉と活動内容の記録映像が放映されました、

講 話

八王子教育委員会教育長 安間 英潮様 (要旨)



プロバスクラブ創立 25 周年へのお祝いの言葉とコロナ禍での教育現場の取り組みの難しさ、それに伴う音楽活動の厳しさについてお話頂きました。また、奨励品の贈呈に対する謝辞がありました。

賛助出演 ソプラノ独唱

ソプラノ歌手田中三佐代さんによる独唱が行なわれました。ピアノ伴奏は畑野かん奈さん。

ヴェルディ作曲オペラ「椿姫」より「乾杯の歌」、プッチーニ作曲オペラ「蝶々夫人」より「ある晴れた日に」、ホルスト作曲「惑星」より「ジュピター」が熱唱されました。



記念品贈呈

田中三佐代さんと畑野かん奈さんには、シニアダンディーズの活動に対し、永年にわたってご指導・ご協力をいただいたことに感謝し、記念品が贈呈されました。



左から、畑野さん、田中会長、田中さん

創立以来、永年にわたり当プロバスクラブの運営に尽力されてきました創立会員である大野幸二会員、岡田尚会員、立川富美代会員のお三方に記念品が贈られました。(濱野幸雄会員、古川純香会員は欠席)



写真左から立川会員、岡田会員、大野会員と田中会長

閉会挨拶

河合副会長

本日は関係各位の一方ならないお力添えによりまして「エールを送る会」を盛会裡に終了することができました。改めまして心から御礼を申し上げます。

本日の会には本来なら主役となるべき小・中学校の生徒さんの姿がありません。「コロナの蔓延」に対する自粛の為であり、誠に残念なことであります。



プロバスクラブでは創立 25 周年記念事業の一環として、明年 3 月に 3 校合同の演奏会を開催することをお約束して、本日の「エールを送る会」を閉会といたします。ありがとうございました。

第 300 回例会

日 時：令和 2 年 10 月 8 日(木) 12:00～14:00

場 所：八王子エルシィ

出席者：48 名、リモート出席者 3 名 出席率 83 %

(会員総数 58 名、欠席 8 名、休会 2 名)

1. 開 会

齊藤例会委員長

第 300 回例会開催を告げ、配付資料の確認が行なわれた。

2. 会長挨拶

田中会長

新型コロナウイルスのパンデミックという大事態が未だ収まらない中、必要の対策を取って頂いて、今月も皆様ようこそお集まり頂きました。



最初に去る 10 月 3 日に開催いたしました我がクラブ「創立 25 周年のつどい」が素晴らしい形で実行できましたこと、ご尽力頂いた会員各位に心から感謝を申し上げます。当クラブの活動の中に、音楽という分野が大きく盛り上がってくる気運を感じます。

次に、会員増強への皆様の協力お願いです。八王子プロバスは、全日本プロバス協議会の中でも、2 番目の会員数を誇るクラブではありますが、ここ数年若干減少傾向でありますので、今一度ご尽力願います。

三つ目に、2 年後の 2022 年には当地八王子で全国総会が開催されることになっていきます。その準備が始まりますので、皆様のご協力を宜しく願いいたします。

3. ハッピーコイン披露

河合副会長からハッピーコイン 18 件の披露がありました。(7～8 ページに掲載)

4. パースデーカード贈呈

10 月生まれの会員に池田会員手作りのパースデーカードが送られた。

10 月生れの会員は 10 名ですが、当日出席された方は 8 名でした。(欠席は古川会員、戸田会員)



写真左から 丸山、山野、大野、立川、各会員、会長、土井、岡本、矢島、山口各会員

5. 幹事報告

持田幹事

1) 本日は東京日野プロバスクラブの宮地様にご出席を頂いて、卓話を頂くことになっております。よろしくお願い致します。

また、橋本会員の紹介で鈴木英雄様が本日見学出席をされております。当クラブの現状を知って頂く良い機会になるものと思っております。

2) 10 月 3 日に「エールを送る会」が開催されました。詳細説明は杉山事業委員長から後ほどございますが、私の印象を伝えます。

それは 3 校の校長先生の謝辞や安間教育長の御礼の言葉から「エールを送る会」を開催したことが本当に感謝されていることを実感しました。プロバスクラブの意義はこのような活動をすることにあると再認識しました。

3) 一般会計の予算と実績の状況報告です。今期に入り 3 ヶ月経過しましたが、バランスはとれております。クラブの活動が活発に行われてないこともあるようです。今後も注視していきます。半期経過後には正式に報告を致します。

6. 委員会活動報告

(1) 例会委員会

齊藤委員長

11月特別例会は11時から日本閣で行ないます。特別例会終了後、通常の例会を開催します。

1月例会は新年顔合せとなりますが、現状では懇親会は開催できない見通しです。

(2) 情報委員会

内山委員長

プロバスだより第299号をお手許にお配りしました。今号は岡部会員、久野会員の寄稿文を掲載させていただきました。ホームページへのアクセス数ですが、8月は236件でした。

毎回お願いしておりますが、例会での発言された方は発言要旨を情報委員会にお届けください。

(3) 会員委員会

寺山委員長

本日、7月の例会でお話しいたしました、個人用名刺を全員にお渡しすることができました。また、メールアドレスの一覧表もお渡しすることができました。会員限定ですので、取り扱いには十分な注意をお願い致します。また、訂正や追加などがありましたら、いつでも申し出をお願い致します。また、今日は、橋本会員の友人の鈴木英雄様が見学にいらしてくださいました。誠にありがとうございます。更に、杉山会員から推薦する方がいらっしゃるのお話もうかがいました。プロバスクラブ発展のために大変に喜んでおります。今後とも会員の皆さまの協力よろしくをお願いいたします。

(4) 研修委員会

飯田委員長

今月は11月12日開催の特別例会に関する事項をご連絡させていただきます

- ① 配布資料は特別例会第3報と日本閣からのコロナ対応策に関する資料です
- ② 今回はシニアダンディーズの出演ありません。
- ③ 会員の奥様にもご参加希望を募りますので事前にお申し出ください。
- ④ 欠席の場合は必ず前日までに各委員長から飯田までご連絡ください。

(5) 地域奉仕委員会

馬場委員長

① 生涯学習サロンの日程の内部案を決定した。今後、講師・話し手と調整し、正式依頼を行うべく準備中があります。

② サロン会費については、サロン形式の交流が行えないこと、質疑応答も取りやめること、会場の定員が少ない可能性があるなどの条件の悪さを考慮し、従来比1,000円安くする方向で検討中です。

③ 会場（クリエイトホール）の定員はコロナ禍の推移に影響され80名～170名の幅があり、来年1月末時点の規制に従わざるを得ず、対応に課題があります。

(6) 交流担当

一瀬理事

本日は2点報告いたします。

1点目は全日本プロバス協議会の書面による総会議決結果であります。すべての案件が承認され田中会長の全日本副会長への就任も正式に決まりました。八王子プロバスとしての支援体制を構築することといたしたいと考えます。なお立川会員は引き続き顧問として残られます。また予算面では、会費で足りない分を協賛金で補う財政事情ではありますが、当クラブとしては立場上クラブとして1口、その他は、個人的に何人かの方をお願いすることで対応することといたします。

2点目は2022年の全日本の総会を当クラブがホストになって開催する件であります。来年1月をめぐりに準備委員会を立ち上げることで理事会の決定をみました。日時・場所・テーマ（コンセプト）・予算など大枠を決めてスタートを切るべく、人事を含めて体制構築のプロセスに入りたいと考えます。

(7) 「宇宙の学校」

下山PJリーダー

今月も進展の報告をすることが出来ません。規模やボランティアの見通しがついていません。10月中にはなにがしかの案を作らないといけないと思っています。「宇宙の学校」の開催については全日本のどこでも同様の悩みです。全国の推進事務局である「こども・宇宙・未来の会＝KU-MA」でも名案には至っておりません。今はKU-MAでは「宇宙の学校」リモート版として「宇宙の教室」リモート教室を開く試みをしています。みなさまのお知り合いで、宇宙に興味を抱くお子さんのおられる方はアクセスして見るようお勧めください。ホームページは下記です。教材、ガイドブックなど用意されていて送付されます。(有料) URL ; <http://www.ku-ma.or.jp/>

(8) 創立 25 周年記念事業実行委員会報告

杉山 友一

先週 3 日土曜日の創立 25 周年のつどい「小・中学校 音楽活動優秀校にエールを送る会」につきましてはお陰様で所期の目的を果たして無事に終了いたしました。長い間準備にお力をお貸し頂いた関係者の皆さんに改めて厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



つきましては、本記念事業にはコロナ事情の中で積み残したパート 2 の部分がございます。来年 3 月 21 日（日）、いちょうホール小ホールを予定しておりますが、各学校が 3 日に贈られた奨励品を心の糧として、これから半年後に練習、訓練の成果を発表いたします。会員の皆様には、是非ともその成果を聞いてほしい、見てほしいと思っております。今からご予定を確保しておいていただければ幸いです。また事業準備の関係者の皆様には引き続きよろしく願いいたします。

<昼食・休憩>

7. 卓話

「落下傘降下～第一空挺団の体験から」

日野プロバスクラブ 宮地 公平 様

自衛隊の内容は、社会生活とは全く係わりがありませんので、こんな世界もあるのかといった感じで聞いてください。内容は異なりますが、どの部隊もそれぞれの訓練に取り組んでおります。



1. 落下傘降下

(1) 空挺団の任務、落下傘降下の概要（使用航空機、降下資材、訓練内容）

(2) 跳びだし塔訓練（11m）

毎早朝、2～3 回の跳びだし訓練を行ないます。

(3) 開傘確認～予備傘処理

開傘異常により予備傘を使用するまでの時間はわずか 1 秒です。一瞬の判断が求められます。

(4) 着地訓練

(5) 送風機による閉傘訓練

(6) 降下塔訓練

降下塔（約 80m）からの落下傘による実降下が行なわれます

(7) 機内動作の概要

2. C-1 輸送機からの人員降下の状況

20 秒で 40 名が降下します。VTR でご覧下さい。

戦術上の要求から、最低高度は 330m、最低機速は約 180Km/h となります。

3 物量投下方式の概要

武器や車両を投下する PDS 方式と弾薬、燃料、糧食を投下する CDS 方式とがあります。

4. C130 輸送機からの物量投下の状況

VTR でご覧下さい。

5. 米陸軍による夜間の物量投下・人員降下

VTR でご覧下さい。

以上でお話を終わります。ご静聴有難うございました。

8. 25 周年を振り返って

会員委員会

岡本 宝蔵

本日のお話は、寺山会員委員会委員長が行なう予定でしたが、入会したばかりのこともあり、又、寺田前委員長も病気療養中の為、私岡本がお話をします。

私は平成 17 年 12 月入会で 15 年目になりますが、その間のうち、会員委員会に関するお話でご了承いただきたいと思えます。

① 創立 25 年間で入退会に関する件

当クラブの委員会はクラブの運営維持や存在に拘わる大切な委員会ですが、会員委員会は会員の皆様方のお力添えとご協力をいただき、クラブにふさわしい仲間を新しい会員として迎えることが目的です。創立 25 周年を振り返りますと、現在一番新しい会員は杉山・高取両会員に推薦いただいた会員番号 155 番の丸山恭会員です。創立以降、97 名の方々が自己都合や体調不良で退会されております。年間平均で退会者は 4 名ほどです。従って、新会員を毎年 5 名程度の増員が必要となります。

② 会員委員会の会費等の回収に伴う件

休会の会員には会費が減額されますが、なかなか徴収が難しい場面が多々あります。未納通知の郵送や電話連絡などを行なっております。又、自宅訪問をさせていただくケースもあります。

③ 会員委員長としての心残りの件

長期欠席していた会員が亡くなられたことを後日になって知り、ご香典やお焼香もかなわず、ましてやご家族にも会えなかった悲しいこともありました。未だに心残りです。

最後に、創立 25 周年を迎えるに当って、プロバスクラブの先達の皆様方が歩んだ素晴らしい道のを継承し、30 周年に向かってプロバス会員が努力を積み重ねてゆかなければならないと実感しております。

9. 同好会活動報告

写真同好会

矢島 一雄

今年の初めにコロナウイルスの感染が報じられて以来、活動を中止しております。写真の撮影は主に屋外の広い空間で撮影することになります。従って、撮影地に行くためには、不特定多数の方と接触する機会が多くなり、感染の機会が払拭できるかどうか不安があったからです。

同好会の目的は季節に応じて地域や場所を選び新しい風景や美しい花などを撮影することが主眼です。この先コロナ騒動が収まれば撮影会を再開したいと考えております。

現在の機材は従来と異なり、フィルムはメモリーカードに、カメラは軽量かつデジタル化が進み、どのようなカメラでも美しい写真が写せます。

活動再開の際には、どなたでも参加できますのでふるって行動を共にして楽しみましょう。8 人のメンバーがお待ちしております。

10. その他 特になし。

11. プロバス賛歌

起立・黙唱



12. 閉会

河合副会長

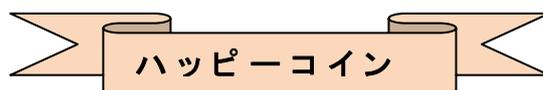
冷たい雨の降る中を 10 月例会へのご出席お疲れ様でした。

本日は新しく会員になられる鈴木さんにもご出席を頂き、ご紹介もありました。是非、本会の御入会の

上、プロバスライフを楽しんで頂きたいと思っております。

また、例会の卓話として日野プロバスクラブの宮地さんにお越しいただきました。自衛隊で体験された落下傘部隊の訓練の様子を、映像を交えてお話し頂きました。普段では見ることのできない迫力ある映像に息を呑みました。ありがとうございました。

来月の例会は 11 月 12 日に日本閣で特別例会として開催されます。皆様にはお元気で参加されますようお願いして、本日の例会を閉会とします。有難うございました。



◆全日本プロバス協議会の書面総会で田中会長の全日本副会長への就任が正式に決まりました。ハッピーではありますが責任も大きくなるものと思われ、八王子全体で支えてまいりたいと考えます。

一瀬 明

◆先日の「エールを送る会」こどもたちがお返し演奏してくれた姿が映像ではありましたが、真剣でかつうれしそうで何とも言えずハッピーな気分になりました。

一瀬 明

◆息子より喜の字の祝いに純米大吟醸「飛露喜」をもらいました。いつ飲むか思案中。楽しみです。

野口 浩平

◆10 月 3 日クラブ創立 25 周年記念・エールを送る会が成功裡に開催できました。会員参加が少なかつたのですが感動的なすばらしい会でした。

ハッピー！！

飯田 富美子

◆11 月 12 日の特別例会への参加をよろしくお願い致します。急に寒くなりましたので風邪など引かないようご注意ください。

飯田 富美子

◆プロバス会員の平均年齢には及びませんが今月 73 歳になりました。今後ともよろしく申し上げます。

山口 三郎

◆創立 25 周年記念式典はコンパクトながらも内容の濃いものとなり、誇らしく感じました。ハッピー！！

馬場 征彦

◆病後、初めて旅仲間と東北へ電車と温泉の旅に行ってきました。元気なれて良かった！

有泉 裕子

- ◆25年おめでとう。 浅川 文雄
- ◆10月3日「エールを送る会」が予定通り開催され無事終了しました。3校へエールを送りましたら、もっと大きな笑顔と感謝が帰ってきました。Happyでした。 持田 律三
- ◆最近いやなマスクも時には人助けをしてくれる。ではここで俳句を一つ。「都合良くマスクが隠す寝ぼけ顔」ということで、ことなく前進。Happy。 荻島 靖久
- ◆創立25周年記念式典が無事開催されました。ご尽力頂いた関係者の皆様に感謝をこめて。 田中 信昭
- ◆創立25周年記念事業の集い、パートワンが無事終了しました。関係各位のご苦勞に感謝申し上げます。 杉山 友一
- ◆創立25周年の会はすばらしいものでした。コロナでなければもっと華やかであったのに残念でした。25年在籍の記念品に加えてバースデーカードと嬉しい事が続きます。有難うございました。あと1年で90歳です。1日1日を大切に生きたいと思えます。 立川 富美代
- ◆創立25周年ファウンダー表彰をいただき、ラッキー！ 大野 幸二
- ◆私の住む北野台で10年来のおつきあいをしている鈴木英雄さんが「例会」見学してくれます。よろしく。 橋本 鋼二
- ◆10月3日25周年記念のつどい。子ども達のかわいい笑顔、教育長の実のあるご挨拶、三佐代さんのジュピターが印象的でした。素晴らしい企画を立て運営して下さった実行委員のみなさまに感謝します。 池田 ときえ
- ◆プロバスクラブ創立25周年記念事業「エールを送る会」は大成功。これからのプロバス活動の大きな柱として期待大。 河合 和郎

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

ゲッカビジン (月下美人)



花は白色で香りがつよいですが、夜に咲き始め翌朝までの一晩でしぼんでしまいます。今年二回目に咲いた花です。 (MU)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

私の一句〈十月の句会から〉

河合 和郎

コロナの異常事態はいつまで続くのだろうか。秋本番の好季節なのに小旅行もままならない。俳句づくりに専念するという手もあるが。

秋蟬の骸引きゆく蟻の群 矢島 一雄

一見残酷のように見えるがこれも自然界の摂理の内。こうして命が引き継がれてゆく。

夕映えに透きとおりに赤トンボ 池田ときえ

行く季節を惜しむような赤蜻蛉の飛翔をうまく表現。夕映えに溶け込む蜻蛉の姿に想いを重ねて。

本堂は紅葉廊下の奥の奥 田中 信昭

京都の寺院の紅葉が目につかぶ。「紅葉廊下」とは洒落た表現。大寺院の紅葉の美しい様子が描けた。

川筋の果てに夕雲雁の飛ぶ 下山 邦夫

日本画の一幅を見るような一句。雁は北国から渡って来る渡り鳥。この句の添景としてぴったり。

風立ちぬ金木犀の香り乗せ 間宮 敏明

平明は詠み方がいい。句会に参加されてまだ間もないが、早くも俳句の骨法を会得されたか。期待大。

生家跡木戸にもたれる柘榴かな 飯田富美子

先月の「百年の商家閉じるや九月尽」の連作。木戸にもたれかかる柘榴の様子が淋しさを誘う。

朝霧へさつとティーオフ喜寿の友 馬場 征彦

朝一番のティーオフを迷いなく振り抜く。元気いっぱいの喜寿の友のスイングが眩しい。

逝きし友手酌で偲ぶ今年酒 野口 浩平

無二の親友だった酒の友も逝ってしまった。今年の新酒も一緒に飲む約束だったのに。酔えない一口。

曼珠沙華天堂たどる道しるべ 東山 榮

彼岸花は天国に咲く花とか。その花を天国への道標べと見立てた発想がいい。俳句は脳を活性化する。

菊一本残し狭庭を刈仕舞ふ 河合 和郎

秋の終りを迎えた庭は何か雑然としている。菊の花などを残しつつ刈仕舞うのも年中行事の一つ。

編集後記

300号は創立25周年記念事業「エールを送る会」の記事を掲載しました。 内山雅之

